

葉っぱはみどいだね

R. 8. 5月



春、草花に触れ、ふきを食べたり、玄関前のちゅうりっぷも何色が咲くのかを楽しみにしながら「がんばれがんばれ、ちゅうりっぷ」と応援しました。農村公園や散歩では宝探しのようたんぽぽをみつけては教え合い、小さい子たちも「たんぽぽ」と指差し、「本当だね」と共感すると嬉しそうな表情を見せてくれました。

保育園の廊下の桜の木も外の移り変わりと共にフェードアウトし、裸の木が残りました。今の外はどうなってるかな…と見てみると「葉っぱ！緑だね」と気づき、みんなで葉っぱ作りになりました。

最初は緑の絵の具で塗っていましたが、みんなで使うとあっという間になくなってしまい、さあどうしよう…というところで、「そういえば、青と黄色を混ぜると緑になるって見たことある」と年長の子が教えてくれ、早速色づくり開始！

「緑になった！」「ほんとだ！」と驚きの声が上がったのもつかの間、緑の絵の具ができたことでまた色塗りに集中。ところが塗りながら「あれ？〇〇くんと僕の緑、違うね」「なんで？同じ青と黄色混ぜたのにね」とパレットを見せ合う姿もありました。また、自分で作った緑なのに、1回目と2回目の色が違うことにも気づき、「なんで？」と不思議さと面白さで塗ることも楽しいけど色作りの楽しさも感じているようでした。

葉っぱの色塗りをしながらたんぽぽも作り始めました。「明日続きしよう」と今毎日、自分たちが触れてきた自然を再現することを楽しんでいます。

これからも身近な事象に関心を持ち、季節の移り変わりを感じていって欲しいなと思います。

